

南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和 8 年 6 月
南那珂農林振興局
(南那珂農業改良普及センター)

I 管内農業・農村の主な動き

1 水稻無人ヘリ防除協議会班長会が開催

10 日に、南郷ハートフルセンターにおいて、早期水稻無人ヘリ防除協議会班長会が開催されました。会議では、普及センターから南那珂管内約 50 カ所の出穂時期の予測や病害虫発生状況について説明しました。本年度は、カメムシの発生が多いことから、出穂前の畦畔等の除草と、出穂後の 2 回防除の徹底を呼びかけました。また、各地域毎の防除日程について協議が行われ、1 回目を 6 月 15 日から 2 回目を 6 月 24 日から実施する予定です。



無人ヘリ防除協議会班長会

2 日南・串間もみすり組合総会が開催

19 日及び 26 日に、日南・串間もみすり組合総会が開催されました。昨年の事業実績並びに本年度計画が審議され、すべて承認されました。

普及センターからは、早期水稻の生育状況、病害虫発生状況と今後の管理について説明するとともに、乾燥調製の留意点等について情報共有を行いました。



日南・串間もみすり組合総会

3 串間酪農業協同組合 第 59 回通常総会が開催

19 日に、串間酪農業協同組合事務所において、第 59 回通常総会が開催され、水谷組合長より、「ケガのないように酪農経営を進めてほしい」との挨拶がありました。



総会の様子

4 令和8年度6月期子牛品評会が開催

25日に、南那珂地域家畜市場において、6月期子牛品評会が開催され、36頭の出品がありました。

結果、日南市南郷支部の荒武賢人氏の「るみね13（羅旺45×宗守富士×耕富士）」号が優等賞首席、同じく南郷支部の安楽亮太氏の「さくらこ3352（白隆鵬×満天白清×美徳国）」号が2席、串間市大東支部の松本壽利氏の「ゆりの4（桃白鵬×耕富士×美徳国）」号が3席を受賞しました。

団体優勝は、串間市大東支部が受賞しました。



表彰式の様子

5 令和8年度2JA 合同の畜産研修会の開催

29日に、南那珂地域家畜市場において、JA主催の畜産合同研修会が開催されました。

普及センターからは、「良質な飼料作物生産のポイントについて」と題し、気候変動が自給飼料生産に与える影響や、良質な自給飼料生産のためのポイントについて説明しました。



研修会で説明を聞く生産者

6 はまゆう地区本部ごぼう部会総会が開催

29日に、中村荘で「令和7年度 JA みやざきはまゆう地区本部ごぼう部会総会」が開催されました。

会では、令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画等の審議があり、すべての議案が承認されました。

また、来賓として総会に参加のあった県外市場関係者から全国的な市場情勢の説明がありました。その後、研修として神脇産業株式会社より、BS資材を用いた土作りによる、肥料の適正施用について話がありました。



熱心に話を聞く生産者

7 新茶まつりが開催

19日に、道の駅くしまにおいて串間市茶業振興課主催の一番茶の新茶まつりが開催されました。今年は串間市内の生産者6名の荒茶を加工・仕上げを行い、試飲や販売を実施しました。

1年に1度の180セット限定販売ということもあり、常連客の姿も多く見られました。直接、消費者の生の声を聞くことができ、今後の茶生産の励みになりました。

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

No. 2 技術革新により高収益生産に挑む儲かる野菜産地の実現

1) はまゆう地区本部ピーマン部会日南支部及び串間支部の解散総会が開催

JA みやざきはまゆう地区本部ピーマン部会の日南支部（23 日）および串間支部（25 日）において解散総会が開催され、それぞれ 33 名、16 名の生産者が参加しました。

総会では、令和 7 年度の事業報告、収支決算が審議され、すべての議案が承認されました。また、併せて行われた部会表彰では、成績優秀者の功績が称えられました。

今年度より両支部は合併し、はまゆう地区本部ピーマン部会として新体制での活動がスタートします。普及センターとしても、引き続き支援を行っていきます。



総会で挨拶を述べる清所長

2) サツマイモ基腐病対策実証ほの調査

3 日から月末までの 6 日間、管内で令和 8 年度に取り組んでいる薬剤試験などの各種実証ほの発病調査や薬剤散布を実施しました。

ドローン防除による銅剤の効果確認では、基腐病は確認されませんでした。

今後も、薬剤の効果確認や発病調査を定期的に行っていきます。



ドローン散布の様子

3) かんしょほ場での病害発生状況調査及び対策

23 日に、関係機関（串間市、JA、振興局、普及センター）で第 2 回目のかんしょほ場の定点調査（ほ場数 27 箇所）を行いました。

今回の調査では、基腐病が 3 箇所のほ場で、茎根腐細菌病が 2 箇所のほ場で数ずつ確認されました。

今後気温も上昇していくことから発生拡大するリスクが高まっています。

7 月以降も関係機関と協力して、毎月調査を実施する予定ですが、7 月に開催される座談会等の場で、生産者に対して適期の病害対策の推進を行っていきます。



基腐病に感染した株

4) かんしょの青年農業者学修会を開催

25日に、JA みやざきはまゆう地区本部、串間市大東地区本部管内の青年農業者(計7名、うち1名欠席)を対象に学修会を開催しました。

会では、参加した生産者から8年産の栽培状況の聞き取り等を行った後、収量確保に向けた取り組みやPR方法についての意見交換を実施しました。特に栽培方法等については活発な意見交換が行われ、非常に有意義な学修会となりました。

No. 3 産地構造の改革による足腰の強い肉用牛産地の実現

1) 和牛コンソーシアム及び肉用牛重点指導プロジェクトの巡回を実施

11日と25日に、和牛コンソーシアム(※)の対象農家4名(串間市)の巡回を行い、子牛の体測や牛舎環境の確認、粗飼料確保状況の聞き取り等を行いました。

今後も引き続き定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。

※生産性向上のために、畜産協会、各地域のJA、NOSAI みやざき、市、普及センターが連携して指導する組織。

2) 飼料用イネ(乾田直播)の生育確認を実施

串間市の農事組合法人みのさきファームのほ場にて、乾田直播した飼料用イネの生育状況確認を1週間間隔で行いました。生育状況は良好です。

引き続き確認を行い、生育状況に合わせて追肥等の指導を行います。



乾田直播したほ場の様子

No. 4 県内一のかんきつ、スイートピー産地を未来につなげる仕組みづくり

1) 第1回南那珂地域青年農業者等支援連絡会議を開催

3日に、当地域の担い手確保・育成のための標記会議を開催しました。この会では、毎回、就農希望者の相談の進捗状況や、認定新規就農者の営農状況、就農希望者等向け研修計画等の情報共有を行っています。今回は世界的な情勢の変化が農業現場に及ぼしている影響についても情報交換し、厳しい情勢の中、更なる支援に努めていくことを確認しました。

また当会議には、必要に応じて県の関係各課や関係団体からも出席いただき、県域の情報共有や地域との意見交換等を行って連携を深めています。

今後も普及センターでは、引き続き関係機関と共に青年農業者等の支援体制の充実を図っていきます。



意見交換を行う出席者

2) 果樹技術員会でスマート農機活用推進、労働力・担い手確保対策を検討

11日に、普及センターで第2回南那珂地区果樹技術員会を開催しました。

各品目の生育概況の共有、今年度の展示ほ調査の進捗確認のほか、スマート農機活用推進、労働力・担い手確保対策について検討を行いました。

スマート農機活用推進では、昨年度実施したドローン防除試験結果の共有及びドローン防除の普及のための事例収集について呼びかけを行いました。

労働力・担い手確保対策では、新規就農者の研修体制の案について検討及び関連事業の情報共有を行いました。

今後も関係機関と連携し、産地の活性化と技術の普及に努めていきます。

3) 各研修会・反省会等におけるスイートピー関係者への情報提供

5日に、南那珂地区花き振興会総会並びに研修会が開催されました（20名参加）。

研修会では、スイートピーの高温対策として昨年度実施した展示ほ結果を共有したほか、病虫害防除と労働力確保の取組みについて情報提供しました。

24日には、JAみやざきはまゆう地区本部花き部会総会および反省会が開催され（45名参加）、昨年度の展示ほ結果を共有しました。

また、地域振興担当より、スイートピーの新たな担い手確保に向けた取組みの進捗状況やデイワーク利用者向けに作成した作業解説動画について情報提供がありました。

今後も各種会議等で積極的に情報提供を行い、産地の活性化と技術の普及に努めていきます。



熱心に聞く生産者（花き振興会）



担い手確保の説明（花き部会）

4) 南那珂地区営農振興協議会花き部会第2回技術員会の開催

26日に、南那珂地区営農振興協議会花き部会第2回技術員会を開催しました（13名参加）。

各品目の生育概況や今年度の展示ほ計画書、昨年度の県産品点検結果の共有のほか、新たな担い手確保への取組についても協議しました。

今後も関係機関と連携し、産地の活性化と技術の普及に努めていきます。



関係機関による協議

2 地域課題一覧に関する普及活動

1) 施設かんきつ高温対策展示ほ結果の共有

はまゆう管内にて、施設かんきつ（不知火・きんかん・みかん・せとか・日向夏）の学習会が開催されました。

営農指導員より時期別管理について、普及センターより気象概況及び昨年度実施した高温対策展示ほの結果について説明しました。

説明の後は、ほ場巡回を行いながら、栽培状況や今後の管理について生産者と意見交換を行いました。

今年度も高温対策展示ほを設置する予定のため、品質向上に向けた情報提供、支援を行っていきます。



ほ場巡回での意見交換

2) ホオズキの展示ほ調査の実施

近年ホオズキでは、実の老化による等級低下が問題となっており、定植からの高温が続くことが原因と言われています。そこで、昨年度より引き続き展示ほを設け、定植時期の違いによる影響を調査しています。

9日、22日に生育状況調査を実施しました。今後も収穫時期まで定期的に調査し、実の老化への影響を検討し、安定した品質の確保を進めていきます。



JA指導員、普及員による調査

3) ホオズキ研修会の実施

16日に、宮崎県営農振興協議会が主催のホオズキ研修会が開催されました（33名参加）。

現地視察では、日南市のほ場を訪れ、生産者同士で活発に情報交換が行われました。

また、室内研修では、各地域の状況報告後、南那珂地区のホオズキ栽培の概要について情報提供をしました。そのほか、病虫害対策と高温対策についての情報提供や生産者による質疑応答が行われました。

今後も関係機関と連携し、産地の活性化に努めていきます。



現地視察と室内研修

3 その他

1) オクラ品種比較試験生育調査の実施

11日に、串間市本城の生産者ほ場にて、JA みやぎきはまゆう地区本部の指導員と共に品種比較試験を実施しているオクラの生育調査を実施しました。

試験区に「キャスバル」、「MS-1380」を、対照区に「ジュピター」を栽培し、収穫節数や草高の調査を実施しています。本調査を実施することで1株当たりの収穫数や収穫開始のおおよそのタイミング等、各品種の収益性、特性の把握につながり、高収益品種の選抜に寄与することが期待されます。

今後は、収穫終了となる11月頃まで生育調査を実施し、本調査結果を基に品種の選定に役立てていく予定です。

2) 侵入警戒有害動植物の侵入調査を実施

本県への侵入警戒害虫であるミカンコミバエ種群（管内8箇所）のトラップ調査を実施し、いずれも誘殺は確認されませんでした。

また、24日に、7月から始まるアリモドキゾウムシの侵入警戒調査に向け、日南市3か所、串間市9か所の計12か所にフェロモントラップを設置しました。調査は7～9月の3か月間、月2回（15日前後と月末）実施されます。

今後、南那珂地域への侵入・まん延を防止するため、定期的な調査を実施していきます。



アリモドキゾウムシの
トラップ設置

農業者、漁業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！



宮崎県農業・水産業ナビ
ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

農業・水産業に関する

- ➡ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- ➡ タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
- ➡ 皆さまの思いや意見を集約！

ひなたMAFiN

検索



メルマガ登録はこちら

